

福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》2014年度上半期事業報告

＜相談業務＞

上半期は約820件のご相談を頂きました。傾向として、健康管理・金銭管理・ピアカウンセリング等に関する相談が多く寄せられました。また、生活環境を整えるサポートとして、こだわりからくる整理整頓の難しさがある方の支援、引っ越しを契機とした各種関係機関との連携・調整など、それぞれの場面でご本人が主体的に取り組めるような支援を目指し、対応しました。その他、介護保険や生活保護(他人介護加算)等総合支援法以外の介護制度の利用サポート、ご本人やご家族・支援機関からの計画相談支援に関わる問い合わせへの情報提供等も行いました。

＜その他事業＞

○ 自立支援協議会

権利擁護・相談支援専門部会では、福祉人材の不足という課題に対し対応策を検討しています。ヘルパーを増やすために取り組む内容については、立川市障害者週間イベントの展示会を活用していくこと、事業所連絡会と連携を図りながら進めていくこととしています。また、指定特定相談支援事業者など支援者向けのスキルアップ研修などについても検討を行いました。

○ 事業所連絡会

上半期に開催した連絡会では、ヘルパー派遣事業所の方にお集まり頂き、代表者による幹事会を結成しました。そして、幹事会では今後の連絡会の開催に向けた企画立案や当日の役割分担などを決める打ち合わせを行いました。また、上記に記載した通り、自立支援協議会からの依頼でヘルパー人材不足解消に向けた取り組みについても実行に向けて検討を進めています。

2014年度 立川市障害者週間イベント ～来て見て感じて つながろう～

立川市では障害のある人の福祉について広く市民の方に理解を深めて頂くことや、障害のある人の社会参加を進めることを目的として、立川市障害者週間イベントを開催しています。福祉ホットラインでは今年度も実行委員会に参加し事務局 長を務めております。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

■映画会とトークショー 共催：立川市人権学習事業実行委員会・立川市・立川市教育委員会

12月7日(日) 立川市女性総合センター・アイム 1階ホール

・ 映画上映会「明日の希望」

・ バリアフリートークライブ ～笑いでバリアを吹き飛ばせ～ 出演：玉木幸則氏、山本シュウ氏

申込み方法など、詳細は11月10日発行の「広報たちかわ」をご覧ください。

■展示・体験会

12月3日(水)～9日(火) 10:00～16:00 立川市役所 1階多目的プラザ

- ・ 市内小学4年生が描いた絵「障害のある人もない人も安心して暮らせる立川のまち」の展示
- ・ リフトなどの福祉機器やロボットなどの展示、体験
- ・ 市内障害者福祉関係団体のパネル展示・活動紹介 等

■社会保険労務士による障害年金相談(要予約)

12月6日(土)、7日(日) 10:00～16:00 立川市役所 1階101会議室

ご予約・お問い合わせ先：立川麦の会：042-507-6015(岡田)

(鶴園 誠)

ちいせいかつしえん 地域生活支援センター・パティオ

<2014年度半期・事業報告>

① 相談支援

・延べ人数 面談・・・762件 電話・・・4681件 訪問・・・284件 関係機関調整・・・1031件

登録外相談：問い合わせや単発相談のみは26名、登録前相談は10名を支援（家族会1名、医療機関紹介が6名、障害福祉課1名、就労支援センター紹介が2名）。

登録者：登録者数109名（新規登録者5名）

・**日中活動の動向**：一般就労中が17名、パティオのみが24名、通所資源を使っている方が32名、一般的な講座・教室などが10名、外出困難な方が9名、3年以上の入院が4名という状況です。

・アセスメントプログラム（お茶の子ハイサイ）を経て、5名が就労継続B型へ通所開始されています。

・就労支援センターに登録した方は2名でした（就労支援利用は全体で9名）。

・3名が入院されましたが、9月までは全員が退院されました。3年以上の入院者2名についての外出支援が再開しています。

・他科受診支援、家族の介護保険・法律相談に関する支援やその支援者との連携が目立ちます。年金申請相談も多く、今年度に入って6名申請の支援をしています。

① プログラム

相談支援の両輪の事業として日中活動へ足がかりとなるプログラムを行っています。去年に引き続き健康をテーマにした内容に力を入れています。8月・9月のマナブとケイコでは、フラダンスを行いました。なかなか、運動をする機会がないため、楽しく体を動かすことを目的として企画いたしました。内容は本格的で、HIROE HURA STUDIOより、講師の先生をお招きして4回にわたり、フラダンスを教えて頂きました。手話のように振り付けと歌詞が連動していて、とても覚えやすく参加の方々も楽しんでおられました。マナブとケイコの6月は口腔ケアでは歯科衛生士さん、ILPでは7月は保健師さん、8月は薬剤師さんをお招きして健康について実践を交えて学んでいます。参加者も多く活発な雰囲気になっています。

●実利用数：69名

●1回あたりの平均利用数）フリータイム5名／レディースデイ6名／出るデイ13名／お茶の子9名／ヨガ10名／ILP7名／月1食ベナイト14名／口腔ケア6名／美術8名／フラダンス5名

③ 普及啓発

●ニュース発行・・・計300部/回 ●講座講師受入（ヨガ、口腔ケア、健康教室）・・・計16回 ●家族会・・・14名

●精神保健福祉実習生・・・1名 ●看護実習・・・5名 ●立川市精神障害者グループホーム連絡協議会 ●地域精神保健福祉専門部会委員 ●立川市精神保健福祉業務連絡会 ●たちせいれん ●地域生活支援センター多摩ブロック会（TTN） ●地活連 ●障害者週間

●当事者による退院支援グループ（りらく立川）への支援協力・・・多摩あおば病院訪問6回（参加の入院患者の方は常時10名程度）、定例会6回。休会者の復帰で、りらくの主たる活動メンバーが6名に。6/3には明治学院大学の講師をいたしました。

今後も丁寧で継続性のある対応を心がけ、包括的な相談の窓口として生活状況の安定に関する支援や調整、その方にある社会資源の見立てなどを中心に支援を行っていききたいと思います。

（文責：遠藤雅子）

就労支援部門 《立川市障害者就労支援事業》

◆上半期事業報告

新規利用登録者は18名(知的障害11名、
精神障害3名、重複障害3名、手帳なし1名)でした。そのうち発達障害の方が2名、高次脳機能障害の方が1名おられました。また、重複障害の方は全て身体障害のある方でした。紹介経路としては、特別支援学校高等部4校から新卒者6名が、B型や移行支援等の福祉施設から7名が登録されました。他に在職中の方が5名、定着支援を求めて登録されました。以前に比べ、福祉施設から紹介される方や就職後に利用される方が、徐々に増えている傾向が見られます。

就職は13件でした。特例子会社が5件と多く、他は事務補助、施設清掃、製造補助などでした。また、就労経験の積み重ねやステップアップを目的に、チャレンジ雇用で2名の方が就職されました。

離職は2件で、在職中に利用登録された方が、自己都合で退社されました。

準備訓練プログラムでは、高齢者施設清掃実習に6名、市役所庁舎実習に8名が参加しました。全て知的障害や精神障害の方で、そのうち半数以上がB型や移行支援等の福祉施設に所属しながら、当センターを利用し、これらの実習に参加されました。

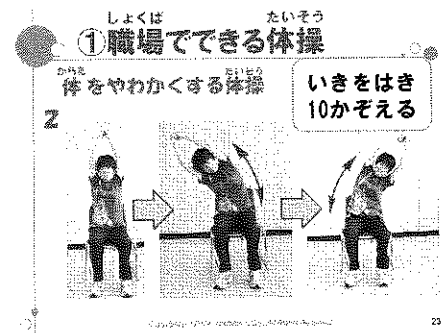
その他のプログラムでは、知的障害の方を対象とした夕食会(木曜日)では、毎回30人程の方が仕事帰りに立ち寄ってくれます。同様にお楽しみ会では6月に「腰痛予防」をテーマとした生活講座を行い、40名以上の方が参加されました。利用者のなかでは、勤続年数を重ねた年齢の高い方も多いため、こうしたテーマを設定しました。ご自身も腰痛のために休職されたという立川市健康推進課の保健師さんにお越し頂き、辛いご経験を踏まえ予防の大切さをお聞きすると共に、腰痛体操含め職場や家庭でできる具体的な予防策について教えて頂きました。

また精神障害の方を対象とした茶話会を6月に開催しました。恒例の近況報告を行った後に、「就職に至るまでの経過・準備支援の大切さ」について皆さんで話し合っていました。在職中の方は、就職までの苦労や準備の大切さを思い出すことで初心に戻って頂いたり、これから就職を目指す方は先輩方の話を聞き参考にして頂きました。この会にはリピーターも多く、企業就労する精神障害の方同士が集える機会の必要性が感じられます。

地域ネットワークに関して、幾つか触れたいと思います。

特別支援学校との連携では、4月に新卒者を受け入れ、学校から引き継いで、当センターが定着支援を行っています。また来年3月卒業後の利用登録を見据えて、夏休み期間中に特別支援学校高3生に当センターの見学に来て頂いています。既に4つの学校から7名の生徒が、保護者や教員と共ににお越しになりました。今後、企業実習場面での同行を予定しています。卒業後、スムーズに支援ができるよう、この時期から徐々に移行の取り組みを進めています。

また、自立支援協議会就労専門部会を含め、多様な機会を通して、障害福祉課や通所施設など地域の関係団体と障害者の就労支援に関するネットワーク形成についての意見交換や検討を行っています。当センターとしては、立川市と協力し、特に福祉から雇用へ循環するシステムを地域で創出することを目的に様々な働きかけを行っています。個別支援と地域ネットワークの形成、いずれも重要な業務であり、下半期もしっかりと取り組んでいきたいと思っております。(井上 貴央)



生活講座「腰痛：体操で上手に予防！」

職場紹介 PART 19 -ワタミフードサービス株式会社 わたみん家 京王八王子駅前店-

今回の訪問先はワタミフードサービス株式会社が展開している炭火焼だいにんぐ「わたみん家」京王八王子駅前店です。お店は17時から翌日3時（休みの前日は5時）まで営業している居酒屋で100人以上のお客様をお迎えすることができます。ここで3月から週5日、12時～16時の勤務時間で開店前の清掃とお通しの盛り付け等を担当しているのが大須賀慶江さんです。

大須賀さんが初めて当センターに来所されたのは10年程前で、ご本人が30代半ばの頃でした。20代で体調を崩し、長い在宅生活をへて、やっと自分の病気について理解し、病院からの勧めもあって福祉

サービスにたどり着いたという状況でした。この時は就労に向けた第一歩として福祉施設への通所をお勧めし、登録には至りませんでした。

しかし、昨年12月、就労移行支援を行う福祉施設からの依頼で久々にご本人と面談しました。就労をあきらめず訓練し準備性を高め、週20時間程度は安定して通所できていることを伺いました。加えて、「何としても働きたい」という強い意志を確認できたため、正式に利用登録して頂きました。

当センターの実習プログラムに取り組みで頂いた後、これまで福祉施設で身につけてきた食器洗浄、盛り付け、清掃の経験をもとに週20時間の仕事を探すことになりました。ハローワークでこちらの会社を紹介され、ご本人の特性、通勤の負担等を踏まえて店舗を選んで頂き、面接・実習を行うことになりました。実習中は毎日支援者が付き添い、業務の組み立てやマニュアル作成などサポートしましたが、店長も丁寧に指導下さったおかげで採用になりました。

しかし、実際に働き始めると、大須賀さんの勤務時間には店長含め他の従業員は殆どいないということが分かりました。そこで一人の際、緊急のことがあれば店長の携帯電話が本部の障害者雇用担当者に連絡すること、それ以外は直接店長に相談させて頂くこととしました。当初は不安もあったようですが、静かな店内で一人で作業することに慣れると、周囲を気にせず自分のペースで黙々と作業できることで、反対に気持ちの安定が図られるようになりました。誰にも見られていないため手抜きもできるのですが、ご本人のまじめな性格と、一人で任されているという責任感で、以前よりお店はきれいになってきました。

店長からも、まじめによくやってくれているという評価を頂いています。

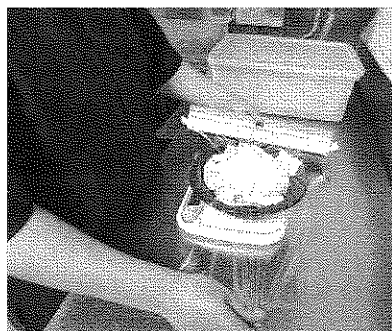
大須賀さんは就職してから一度も不調でお休みしたことがありません。月曜・木曜が休みで5日連続勤務でないため、ゆとりを感じて働けることが理由だそうです。また、こんな私でも雇ってもらえたのだから一生懸命やりたい、お給料を頂けることのありがたさを感じていると話してくれました。

今後も会社様との連携を密にし、安心して長く働けるよう支援していきたいと思えます。

（白部貴子）



開店前の清掃



お通しにラップをかける

じりつせいけいぶ ねんどかみはんき じぎょうほうこく
自立生活部 — 2014年度上半期 事業報告 —

■総合支援法勉強会開催報告（6月3日）

「障害支援区分ってなに？～何がかわる？どうかわる？～」

2013年度よりスタートした総合支援法で、大きく変わったものの中に「障害程度区分」から「障害支援区分」への変更があります。

この「区分」とは、障害福祉サービスの必要性を明らかにするため、障害者の心身の状態を総合的に示す指標となる、とても大切なものです。

今回、その変更部分を正しく理解し、その上で障害状況に即したサービスを受けられるようにと、町田ヒューマンネットワーク理事長の堤愛子氏を講師として迎え、勉強会を開催しました。

参加者は障害当事者、その家族、支援機関の職員と、予定人数を超える40名ほどの参加を頂きました。

前半は総合支援法や障害程度区分の説明。後半は具体的な質問項目をどのように捉え、答えるか、その質問の意図の説明を受けながら正しく理解する事を目的として、身体障害、知的障害の方それぞれ一名ずつ架空の方を想定し、判定ソフトを使用しながら、区分判定のデモンストレーションを行いました。

勉強会に参加された方からは、デモンストレーションの説明が分かりやすいとの好評の声を頂きました。一方、法制度の変更に伴い生活が変わってしまうのではないかと不安の声や、不安があるからこそ私たちのものとして学び取りたいといった声も寄せられました。

この勉強会を通し、制度を深く知らずに答えてしまう一言が「支援区分」に反映され、サービスを受ける自分の生活が大きく変わってしまう怖さが、すぐそこにある事を実感しました。

今後とも現制度の活用はもちろんのこと、必要な情報を整理し発信していきたいと思います。

（鈴木 徳子）

■「2014協力員歓迎会」開催報告（9月17日）



障害の仲間も働く「喫茶たんぽぽ」（富士見町）にて、今年度から加入された新人の協力員を歓迎する会が開催されました。

新しい2名の新人協力員と一緒に、お茶やケーキを頂きながら楽しく歓談したり、またビンゴゲームで盛り上がりました。先輩の協力員と親睦を深める良い機会になりました。

～「協力員」地域での活動、頑張っています～

協力員の活動でも恒例となっている、地域の小・

中学校への訪問「出前講座」もすでに5月から開始され、4つの小・中学校、10回の訪問を行い、更にこれから本格的な活動の時期を迎えます。

また、「たちかわ祭2014」（11月8日）の出店へ向けて、企画や売り物を作るなどの活動を9月から始めています。地域で活動する協力員の仲間に、応援をよろしくお願い致します。（大石 幸治）

■「災害ボランティアリーダー養成講座」参加報告

(6月14日、7月12・26日、9月6日・20日、10月4日)

3.11東日本大震災を機に発足した、立川市民による、立川市民のための災害ボランティア団体【立川災害ボランティアネット】の「災害ボランティアリーダー養成講座」に今年も参加しています。

今年で3回目となる講座ですが、毎年、障害者職員が各講座に参加し、障害者からの視線で意見を発信しています。

内容は全7回にわたり講義からグループワーク、まち歩き（防災チェック）と多岐にわたり、とても充実しています。（うち1回は、普通救命技能資格講習のため不参加）

その中で、受講者として障害者が参加するだけでも、他の参加者の皆さんに地域の中の障害者の存在を感受着頂く、とても大切な機会だと考えています。

3.11の体験を通し、どれだけ周囲の方たちに私たちの存在を知って頂けるかが「いざ！という時」に大事が実感しました。引き続き、防災に関する地域活動に積極的に参加し、地域の障害を持つ仲間たちと共に、その存在をアピールしていきます。

■知的事業 プログラム報告

知的障害当事者の内山さん・泉口さんにご協力頂き、プログラムの実施・取材を行っています。

●みんなで電化製品を見に行こう！プログラム 【開催日：7/5 参加者：5名】

1人暮らしをするにあたって必需品となる「電化製品」について、どのようなものを選べたらいいのか？どのくらいお金がかかるのか？など、実際に電気屋さんに行って調べるプログラムを開催しました。まず、1人暮らしに必要な電化製品の種類について考え、値段を予想しました。そして、ケーズデンキ立川店へ行き、自分が考えた金額と比べてどうだったかを確認し、感想を聞き合いました。お店に足を運ぶと価格を知るだけでなく、自分が欲しい電化製品や機能を探す・考えるとといった視点を持って参加して頂くことができました。

*参加者の声：

「大事にお金を使っていきたい。分割で払えるか相談するなど工夫していきたい」

「自分の家にもいろんな電化製品があるので、使いこなせるようにがんばりたい」

●うっちい散歩 IKEA立川店 【取材日：5/23】

4月に立川駅北口に開店したIKEA立川店を取材しました。ショールームが数多くあり、部屋の広さに合わせたコーディネート例がわかりやすく展示されていました。コップ・お皿など手頃な価格で買える雑貨も数多く並んでいました。フードコートは、軽食や飲み物などを気軽に楽しむことができる場所となっていました。

みなさんもぜひ1度、出かけてみてはいかがでしょうか？

『IKEA立川店』 住所：東京都立川市緑町6

*上記取材記事は、市内にお住まいの知的障害のある方や団体などに配布し、情報提供を行う予定です。
(廣瀬 麻美)



私たちの動き (6/1~9/30)

() は担当部門名 CIL・HL・就労・パティオ

【イベント・行事の実施】

(CIL)

- ・出前講座(西砂小, 6中)
- ・「障害支援区分ってなに? ~なにがかわる? どうかわる?~」(6/3)
- ・小中学校出前講座スキルアップ研修(6/10)
- ・内部研修(6/10)
- ・知的プログラム(7/5)
- ・ランチタイム(7/22, 9/30)
- ・介助ILプログラム(8/5)
- ・「障害者権利条約で社会が変わる!」(8/23)
- ・協力員歓迎会(9/17)

(就労)

- ・茶話会(6/14)
- ・お楽しみ会(6/27)

(パティオ)

- ・家族会(8/16)

【連絡会・委員会・連携業務】

(CIL)

- ・立川市あいあいプラン21策定委員会(6/4, 9/26)
- ・立川市施策推進委員会(6/4, 6. 9, 7/16, 8/25, 9/5)
- ・立川市第4次長期総合計画検討市民会議
(6/7, 7/12, 8/2)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会(6/9, 7/4, 15, 7/4)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
地区別懇談会(6/12, 7/10, 23, 31, 8/4, 9/11)
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(6/16, 8/19)
- ・立川市施策推進委員会 座長会(6/18, 7/23)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
地域懇談会交流会(7/15)
- ・立川市災害ボランティアネットワーク
(7/17, 8/28, 9/6, 18, 20)
- ・立川市自立支援協議会生活専門部会(6/13, 7/9, 9/9)
- ・多摩療護園オンブズパーソン(6/20, 7/2, 18, 8/6)
- ・条例策定委員会準備会(7/17)
- ・立川市地域福祉計画策定検討委員会(7/25, 9/30)
- ・立川市南口開発計画説明会(8/22)
- ・人権擁護委員会(8/27)

(HL)

- ・立川市障害者週間実行委員会(6/25, 7/30, 8/27)
- ・立川市自立支援協議会生活専門部会(6/13, 7/9, 9/9)
- ・HL検討委員会(9/8)

(就労)

- ・都意見交換会(6/19)
- ・多摩地域就労支援連絡会(6/20, 8/22)
- ・障害者雇用連絡会議(7/23)
- ・交流連絡会(6/9, 7/29)

(パティオ)

- ・支援センター多摩立川保健所圏域会議(6/13)

- ・立川市精神保健業務連絡会(6/17, 7/15, 8/19, 9/16)
- ・りらく定例会(6/19, 7/17, 8/21, 9/18)
- ・立川市障害者週間実行委員会(6/25, 7/30, 8/27)
- ・グループホーム連絡協議会(6/26)
- ・立川市退院支援会議(7/10, 9/11)
- ・たちせいれん(7/25, 9/2)

【外部への見学・研修・イベント】

(CIL)

- ・尊厳死セミナー(6/18)
- ・柴崎町防災訓練(6/28)
- ・沖縄県に学ぶ条例の作り方(7/20)
- ・TIL総会(7/25)
- ・立川防災ボランティア養成講座(6/14, 7/12, 26)

(HL)

- ・緊急集会STOP精神科病棟転換型住居系施設(6/26)

(就労)

- ・八王子ふらん研修(6/16, 9/18)
- ・多摩地域の支援力向上モデル活動研究会(8/26)

(パティオ)

- ・緊急集会STOP精神科病棟転換型住居系施設(6/26)
- ・医療観察法研修(9/26)

【外部からの見学・研修・イベント】

(就労)

- ・特別支援学校見学(南大沢, 羽村)

(パティオ)

- ・実習生
(社事大 1名, 杏林大学 2名, 武蔵野大学 1名)

【講師派遣】

(CIL)

- ・明治学院大学(6/3, 7/8)
- ・東京都相談支援従事者初任者研修(6/25)
- ・東京都ケアマネ初任者研修(7/14, 15)
- ・立川市夏季教員研修(7/29)
- ・ヘルプ協会くにたち
月例ケアスタッフ研修「当事者の声をきく」(9/30)

(HL)

- ・立川市障害福祉課新任職員研修(6/5)

(就労)

- ・立川市障害福祉課新任職員研修(6/5)

(パティオ)

- ・立川市障害福祉課新任職員研修(6/5)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・株三興製作所 様 ・諸井務 様 ・石射順子 様
- ・細金久生 様 ・黛 正 様 ・高津年夫 様
- ・堀田哲一郎 様 ・柏倉康成 様 ・尾形政二 様
- ・鈴木マサ子 様 ・斎藤明子 様
- ・匿名 7名 (順不同)

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL: 042-525-0879 FAX: 042-521-3134
URL: <http://www.sh.rim.or.jp/~cilt>
Mail: cilt@sh.rim.or.jp